

富来地域小中一貫校地域説明会(2月16日(月)開催) 回答フォームからいただいたご意見

教育課程(カリキュラム)等のソフト面について

- I
- 現在は少子化ということもあり、子供だけのことを考えていても、小学校は立ち行かなくなるかもしれません。
新しく建てる教育の場を子供たちだけのものにせず、昭和世代が 義務教育や高等教育で学んでこなかった、現在では基礎知識として必要な教育もこの学校で学べるようにしてほしいです。全世代が 今は学びが必要だと思います。
- 特に、昭和世代が学んで来なかったが、現代では、生きていくために 習得する必要があって、義務教育の段階で学習できる、以下の教科があります。
- ① プログラミング・情報教育
最も大きな違いの一つです。昔は「技術・家庭科」で木工や金工、裁縫がメインでしたが、現在は PC やタブレットを使いこなすことが必須となっています。
・ プログラミング: 論理的思考を養うため、小学校から必修化されています。
・ 情報モラル: SNS の使い方、ネットリテラシー、サイバー犯罪への対策などを学びます。
- ②外国語(英語)教育の早期化
- ③性教育・ジェンダー平等
かつての「保健」の授業よりも、より踏み込んだ内容になっています。
・ 多様性の理解: LGBTQ+などの性的マイノリティについての理解や、ジェンダーバイアス(男らしさ・女らしさの固定観念)を排除する教育が行われています。
・ 包括的性教育: 単なる体の仕組みだけでなく、同意の概念や「プライベートゾーン」の守り方など、自分と他者を尊重する教育が進んでいます。
- ④キャリア教育・金融教育
将来の自立に向けた実践的な知識の習得が目立ちます。
・ キャリア教育: 職場体験だけでなく、自分の適性や「どう生きるか」を考える授業が増えています。
・ 金融・経済: 成人年齢の引き下げに伴い、中学生でも「契約の仕組み」「資産形成」「多重債務の防止」など、お金に関する教育が行われます。
- ⑤防災教育・SDGs
社会課題に対する意識もアップデートされています。
・ 防災: 阪神・淡路大震災や東日本大震災を経て、単なる避難訓練ではなく、ハザードマップの読み方や避難所運営のシミュレーションなどが行われます。
・ SDGs(持続可能な開発目標): 環境問題、貧困、平和など、地球規模の課題を「自分事」として捉え、解決策を考える学習が全教科に組み込まれています。
これらのことを大人でも学べるような環境づくりをこの学校でしてほしいと切に願います。
また放送大学のサテライト校の機能も備えてもらえると嬉しいです。

2	<p>私は大学から志賀町でて、京都市にいました。友人が堀川高校でした。普通の高校でしたが全国的な成功例として注目を集めました。検索してみてください。文部科学省のページもありました。</p> <p>京都市公立の御所南小学校、堀川高校は全国的な成功例として有名です。地域の特色の出し方は参考になると思います。</p> <p>それまでの京都は、裕福な家の子は同志社などの有名私立に。お金が無いという理由でとんでもない教育格差がありました。それを変える為に堀川高校独自の学科を設けました。地域の企業からの協力、例えば、地場産業のオムロンや堀場製作所の研究者、技術者との交流、学生の研究を支えたそうです。この辺も、検索してください。沢山出てきます。特色の出し方の具体例、成功例、地域の巻き込み方が読めます。</p> <p>加賀市の例は比較にならないと思います。京都では、御所南小学校(こども地域が協力的)は近くの中学校と小中学一貫教育です。そこから堀川高校、京都大学に進学できる様に。私立でも参考になると思います。学年前倒してのカリキュラムは当たり前です。</p> <p>多くの志賀町育ちの人間は、見たことないので一貫校のイメージがわからないのも原因だと、資料を読んで思いました。教員免許の問題もあるかと思えます。富来は通学にかかる教育費用が理由で、町が選ばれなくなりました。その一方で羽咋の方でも金沢で中学受験する話をちらほら聞きます。格差が広がる一方です。</p> <p>私達が知っている今まで通りのイメージでは、教育が原因で、町が選ばれなくなってます。だからこそ子どもに考えて聞くのは大事だと思います。それぞれ背負う時代性からくる問題が違うからです。</p> <p>シカチャン、テレビで見ました。しかしすぐ子どもが大人の顔色みて気を使わせすぎて、撮影されるから尚更で、見ていて辛かったです。</p>
3	<p>地域の方みなさんで地域全体で子どもを育てる環境を学校から作ればいいなと思います</p> <p>どうい地域未来にしたいかをみんなて考え、机にしばられる勉強だけではなく、実際に体験したり、地域の方々と交流できるような環境を作り、子どもたちがのびのびと学べる環境であればそれが地域おこしや活性化にも繋がり、移住者が増えるというようなことも十分起こり得ると思います。ですので、この新しい学校がどんな学校になるのかめっちゃくちゃ重要だと思います。</p> <p>そのような環境を作ってあげることが私たち大人の責任だとも思いますので、ぜひ地域みなさんで子どもたちを育てていけるような学校作りを進めてほしいです。</p>
4	<p>一般の人。特に年配の人が、交流を出来る場所(将来子供が居なくなったら、年配の人が利用出来る場所に)</p> <p>年配の人の知恵や特技などを教えたり、草履や鞆などの手作りや、昔の事を語ったり、癒しの空間。</p> <p>授業については、</p> <p>考え方の倫理を教える時間(感謝と愛)を大切に、IT や AI など便利な事ばかりで無くて、不便でも自分で作り考える事の大切さを教えて欲しい。</p> <p>便利な物の代償は健康を損なう(目や考え方や記憶等)。地域や自然の良さや歴史も大切にして、楽しく、学べる学校であって欲しい。</p>
5	<p>先生はこれまでの様な担任という概念は捨て、専門性を活かし、全ての子供達に対応する仕組みをつくる。それぞれ相性があるので、子供達も自分の話しやすい先生には何でも話すだろうし、先生方はそれを共有する。なので、今までみたいに授業が無いときは職員室に居るという事はしないで子供に寄り添う学びをして欲しい。町民との交流する時間も作って欲しい。伝え継承していかなければならない事もあると思います。例えば、体験ルームで学べる事は町民のその分野に</p>

	<p>得意な人を講師にお願いする仕組みにするとか。あと、ICT の時代なので色々な学校とオンラインで交流できる時間も必要だと思います。田舎の良いところ都会の良いところ、お互いに刺激を受け合って、考えて成長して行って欲しい。</p> <p>どうか、このチャンスに、魅力ある学校造り=町造りとなるので、色々見学したり情報集めて、又、子供達や町民との対話を重ね、決して頭ごなしで作ることだけはやめて欲しいです。</p>
6	<p>説明会、お疲れ様でした。目標など素晴らしい内容が盛り沢山でしたが、どうしたらそうなるか?という具体策が一切無く、結局は建物だけの内容に感じました。</p> <p>富来から高校が無くなってから、一気に過疎が進んでいます。近い所では七尾短大が無くなってから、七尾の人達は街を歩いている人が激減したと言っているのをよく耳にします。私は子供の教育の場も大切ですが、町をどう豊かにしていくのか?も一緒に考えるべきだと思います。例えば志賀町に残りたい。家族ぐるみで志賀町に移住したいと思って貰うには?など骨格を決めてから始めて今回の学校の在り方を考える。では無いでしょうか?</p> <p>このまま無策のままでは富来の人口は減り続けて、せつかく作る校舎も数年後には無駄になるばかりか、高浜の人達にも税金上げないと財政が厳しくなっていくのは目に見えています。</p> <p>以下、具体的な政策はないだろうか?私の考察</p> <p>①高校、高専、専門学校を建てるとか学生に来てもらう事を考える。(学校建てられる基準とか、わかってなく言ってます)</p> <p>②企業誘致で家族ごと転入(個人への誘致など、国基準の補助では無く、志賀町独自の補助)</p> <p>③富来では「金」が取れると聞いた事があります。うる覚えですが、確か、金が4000円/gの時、1トンの山から4~6g金が取れば採算が合う。と言われた時代があったと思います。現在では金は2万円/gを軽く超えます。これを産業と観光、両方から活かして志賀町への移住に繋がらないでしょうか?</p> <p>私も子供を持つ親になりました。このままでは本当に富来は終わります。よろしくをお願いします。</p>
7	<p>町の子供は増える事はないので、教育移住を考えた学校づくり、カリキュラムをしないと、税金の無駄遣いになってしまう。富来での伝統、文化、風習などを『教える』のではなく子供達と一緒にやる事によって『体験』させる。大福寺祭りでの「獅子舞」は後世に残してほしい。田んぼでの「かかしサミット」も面白かった。稗造地区の「粗朶漁」も貴重な伝統文化だと思う。他にもたくさん昔やって今はやれなくなった事があると思う。他では決してできない事を生かし、広げれば教育移住の種になると思う。小中だけでなく幼児も一緒に色々な体験をして過ごしてほしい。今、残っている高齢者の方々がそれを教えられる最後の年代だと思うので私達、町民皆で子供達を育てていける町にしましょう。お願いします。</p>
8	<p>都会では動物と触れ合う機会が少ないので、富来の土地・自然の豊かさを生かし、動物園のようにさまざまな動物の飼育をし、いつでも触れ合える環境を整えることで、その学校にしかない魅力に繋がる。</p> <p>飼育は学校の先生では無く、仮設住宅に住んでる方や高齢の方をシルバー人材センターなどで雇い、手伝ってもらう事で地元の人との繋がり、家に籠りがちな方への支援にも繋がる。</p>
9	<p>里山体験(地引き網、林業、農業)で都会では体験できない事をカリキュラムに組み込められれば良いと思います。</p> <p>義務教育学校が9年間という事について、環境が激変する昨今、4-3-2制度は9年間の教育期間を全うする事を前提としているようですが、転校や転勤な</p>

	<p>どで他地域に移ったとしても対応できるだけの学力が身につけられるといいです。</p> <p>どんな状況にあっても幸せを感じることでできる感性を持てる子供達になってほしいと願っています。</p>
10	<p>地域の特色を生かしたカリキュラムとして、富来の自然・産業・文化・防災を教材にした「探究(問い→調べる→試す→発表→振り返り)」を、毎週、回る形で位置づけてほしいです。</p> <p>例:地域の方への聞き取り、フィールドワーク、防災学習、地域課題への提案、成果の展示・発表など。</p> <p>また「自主・自立・共生」の観点から、子どもが自分を整え安心して学べる環境(個別の学び・対話・協働)が日常的に回る仕組みを望みます。授業を“教室で座るだけ”にせず、可変空間・コモンズ・半屋外スペース等を活かして、学年に応じたプロジェクト学習や発表・対話の機会を増やしてください。</p> <p>さらに、学校が完成して終わりではなく継続的に改善できる仕組みとして、PTAとは別にコミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置を進め、地域住民・保護者・児童生徒・教職員が定期的に話し合える場を設けてほしいです。その場に出た意見は、採否と理由(可能なら代替案)を示して見える化し、継続的に共有してください。</p> <p>子どもたちから「休み時間が短い」「給食が少ないと感じる」といった生活面の声も出ているため、学年を限定せず(年長児～中学生まで)年齢に合った方法で、子どもの意見を幅広く拾い、学校の運用改善にもつなげてほしいです。</p>
11	<p>能登の自然環境を全国の大学の協力を得て、科学的に社会的に学問として教養として身に付けられる、リベラルアーツ教育</p>
12	<p>少人数だからこそそのメリットを生かすように、個々に目が届く教育は強みになると思いますが、その分デメリットもあるので、(ずっと人間関係が固定しがちで居場所作れないなど)、そのためかトラブルや不登校などにもつながるかもしれません。それぞれの居場所づくりにつながるような対話型の授業などもあるといいと思います。</p> <p>少人数だからこそ、フットワークも軽く地域にも出やすいし、地域の人を呼んでの活動もしやすいと思います。今も様々な体験、経験をしていると思いますが、子どもの立場で、町と関わることを考える授業がさらにあればいいなと思います。</p> <p>原則、小学校と中学校の両免許を持っている教員ということでしたが、そんなにたくさんはいないと思います。とりあえず、片方ある人を採用し、夏休みなどを利用して、もう片方の免許を取りに行ってもらおうなどの対応だと、教員の負担が大きいと思いますが、どのように対策する予定でしょうか?</p> <p>ますます子どもたちが減る中、今は4つある部活動ですが、どのようにしていく予定でしょうか?減りますか?地域移行していくのでしょうか?仕方ないことかもしれませんが、選択肢が減るのは、子どもたちにとって残念です。</p> <p>志賀中学校も多くの部活動がありますが、人が減り、団体競技が難しくなっていると思います。交流や合同で行うなどの予定などもあるのでしょうか?</p> <p>小学校と中学校では、行事なども目的などいろいろ違う面もあると思いますが、一緒にすべて行うのでしょうか?もちろん一緒にすることで、できることも増えると思いますが、成長段階に応じて、別の方がよい行事もあるのではないかと考えてしまいます。運動会なども含めて。</p> <p>小学校と中学校の区切りなく、9年間で学習を進めると、途中で他校に転校等になったときに、子どもたちが学習進度の違いで困ることはないのでしょうか?</p> <p>また、他校からの転入生は進度の違いには、個別に対応してもらえるのでしょうか?</p> <p>富来地区には、学習塾などがないと思うのですが、避難拠点施設の多目的室などで、地域ボランティアをつのり、放課後、休日の無料(格安?)の学習室&質</p>

	<p>問教室のようなものはできないでしょうか？バス待ちの生徒や、放課後児童クラブの人も参加しやすく、受験対策も兼ねたようなものになるといいなと思います。（能登高校のような取り組みも含めて）</p> <p>たくさん意見を書かせていただきましたし、たくさん意見などが集まっていると思いますが、富来の地域の子どもたちにとって、地域の大人にとっても、よりよい学校、地域施設になるといいなと思っています。</p> <p>もちろんすべて叶えることは難しいかもしれませんが、一緒にいまちづくりがしていける、いい機会になればいいなと思っています。</p> <p>町と住民と保護者と子どもたちとともに、対話しながら、進めていけばいいなと思っています。よろしくお願いします。</p>
13	<p>少人数だからこそ学校に行きにくい生徒や教室に行きにくい生徒なども取りこぼされない様、こういった対応をします、こういった先生を小中それぞれに1人ずつ配属して学べる場所を作りますといったことを取り入れ、それを強みにもして欲しいです。難しいようでしたら羽咋市にそのような生徒が通っている場所があるようですが、親が送迎するのは難しい家庭がほとんどだと思うので、希望者が5人から10人いるなら町で送迎車を手配したりと支援していただき、通えるような機会を作って欲しいです。</p>
14	<p>新しく設置される義務教育学校は、志賀町の未来を左右する大きな節目になると感じています。</p> <p>町長が掲げておられる、こどもまんなかという理念は、単に経済的支援を充実させるという意味にとどまらず、こどもを社会の中心に据え、まちづくり全体を再設計する姿勢だと受け止めています。その理念が最も形として現れるのが、教育の在り方ではないでしょうか。</p> <p>教育は単なる行政サービスではなく、志賀町がどのような未来を描くのかという、極めて重要な政治の選択だと考えます。</p> <p>これからの時代、AIが知識処理を担う社会においては、点数や偏差値のみを追う教育では十分ではありません。</p> <p>自分で問いを立てる力、対話し、協働する力、困難に向き合い続ける力、自分の思いを言葉にする力といった、AIには代替できない非認知能力を9年間を通して育てる設計が必要だと感じています。</p> <p>そのためにも、こどもたちの意見を学校づくりに取り入れる仕組みを整え、与えられる学校ではなく、共につくる学校として育てていく視点が重要だと思います。</p> <p>また、こうした学校づくりを実現するには、明確な教育ビジョンと、それを体現できるリーダーの存在が不可欠です。校長選任の在り方についても、従来の方法に加え、公募制を含めた多様な選択肢を検討することは、町としての本気度を示す一つの表れになるのではないのでしょうか。</p> <p>こどもまんなかを理念で終わらせるのではなく、この義務教育学校づくりを通して具体的に体現していただきたいと強く願います。教育は、この町の未来を形づくる最も重要な政策の一つです。ぜひ、本気で取り組んでいただけることを期待しています。</p>
15	<p>富来地域では人口減少が進行しており、将来にわたる学校存続に不安を抱く声も少なくありません。義務教育学校の開校は、そうした状況の中で、地域の将来を左右する極めて重要な機会であると考えます。単に学校を統合・維持するという発想にとどまらず、「この学校で学ばせたい」「この地域で子育てをしたい」と思われるような特色ある学校づくりが求められます。</p> <p>その一つの方向性として、教育内容や学びの在り方に明確な特徴を持たせることは、教育移住の促進にもつながる可能性があります。とりわけ、子ども一人ひとりの成長を大切に、対話や協働を重視する教育への関心は、近年高まりを見せています。</p> <p>そうした観点から、今回開校する義務教育学校において、イエナプラン教育の考え方を参考にすることは、有効な選択肢の一つではないかと考えます。イエナ</p>

	<p>プランは、異年齢集団での学びや、子どもを一人の人格として尊重する姿勢を重視しており、9年間を一つの学びの流れとして捉える義務教育学校の制度と親和性が高いと感じています。</p> <p>もちろん、全面的な導入に限らず、その理念や手法を段階的に取り入れていくことも考えられます。地域の実情や教職員、保護者の理解を踏まえながら、学校に独自の教育的魅力を育てていくことが、結果として地域の持続性を高めることにつながるのではないのでしょうか。</p>
16	<p>新たに設置される義務教育学校は、9年間を一貫して支える学校として、従来の小学校・中学校とは異なる理念と運営力が求められる重要な教育拠点であると考えます。特に、学びの連続性をどう設計するか、異なる校種文化をもつ教職員をどうまとめるか、地域・保護者とどのような関係を築くかといった点は、学校の成否を左右する大きな要素です。</p> <p>その中心的役割を担う校長の選任については、従来の人事ローテーションによる任用に加え、公募制を採用することも有力な選択肢ではないかと考えます。公募制であれば、この義務教育学校が目指す教育ビジョンや学校像を明確にしたうえで、それに共感し、実現に向けた意欲と力量をもつ人材を幅広く募ることが可能になります。義務教育学校という新しい形態の学校には、制度理解だけでなく、組織マネジメント力、対話力、そして地域と協働しながら学校づくりを進める姿勢が不可欠であり、これらを重視した選考が行える点は、公募制の大きなメリットです。</p> <p>一方で、公募制には内部人材の納得感や、校長個人への過度な期待といった課題が生じうることも理解しています。だからこそ、公募制を導入する場合には、選考基準やプロセスを丁寧に示し、「なぜこの校長なのか」を説明できる仕組みを整えることが重要だと考えます。また、校長一人に学校改革を委ねるのではなく、教職員・教育委員会・地域がそれぞれの役割を分担し、学校ビジョンを共有する体制づくりが同時に求められます。</p> <p>公募制の導入は、単なる人事手法の変更ではなく、「この学校をどのような思いでつくるのか」という姿勢を地域に示すメッセージにもなります。新しい義務教育学校が、地域に開かれ、信頼され、長く愛される学校となるためにも、校長選任の在り方について多様な可能性を検討し、その一案として公募制の採用を前向きにご検討いただくことを提案いたします。</p>
17	<p>検討委員会にできれば少しでも関わらせてほしいと思ったのですが、そこに参加するための選定方法などは考えていらっしゃいますか？めんどくさいかもしれませんが、ぜひやる気のある人たちを集めてほしいと思います。</p> <p>学校新設めっちゃ重要なことだと思うので。</p>
18	<p>義務教育学校へ富来小学校や富来中学校で勤務している先生に視察に行ってきていただき、視察で思った事を発表したり、保護者や関係者と視察に行った先生が意見交換できる場を作って欲しい。</p>
19	<p>平面的に意見を集めるだけでなく、共に話し合う場を作ってください。現状、とっても良く考えて下さっていますが、お仕着せです。</p> <p>若い方々が、どう育てて行きたいのか？高齢者がどう過ごしていきたいのか？生の声を聞く機会が欲しいです。その上でもう一度意見を聞いて欲しい。</p> <p>一番困難な道が、一番良い道であることを、子どもたちに示したい。これが生きた教育だと思います。</p>
20	<p>保護者や子どもたちのことを親身になって考えているのであればこの前のような説明会の日時の設定や対応では厳しいと思います。</p> <p>これから取りこぼしがないような説明会の開催、例えば担当の方々は大変だと思いますが時間帯をずらしての2部構成 16:00～18:00 19:00～21:00 や託児所の設置などみんなに聞いてもらいたいという町からの誠意を見せてほしいのですができないのでしょうか？</p>

そして、それでもどうしても来れない人でも聞けるようにこの説明会をライブで流すこともそうですし、録画してしかちゃんで流すというようなこともできると思います
ができませんか？

また、説明会に来た人なら QR コードから学校の意見が言えるけど来れない人は意見言えないので公式ラインとか広報とかで意見を言える所をちゃんととる
べきだと思います。

意見を聞きたいと志賀町が思っているのならです。このような対応をされないのであれば、申し訳ないですが志賀町は意見を聞く気がないんだろうなと判断せ
ざるを得ませんが、できないものでしょうか？